



第44期 年次報告書

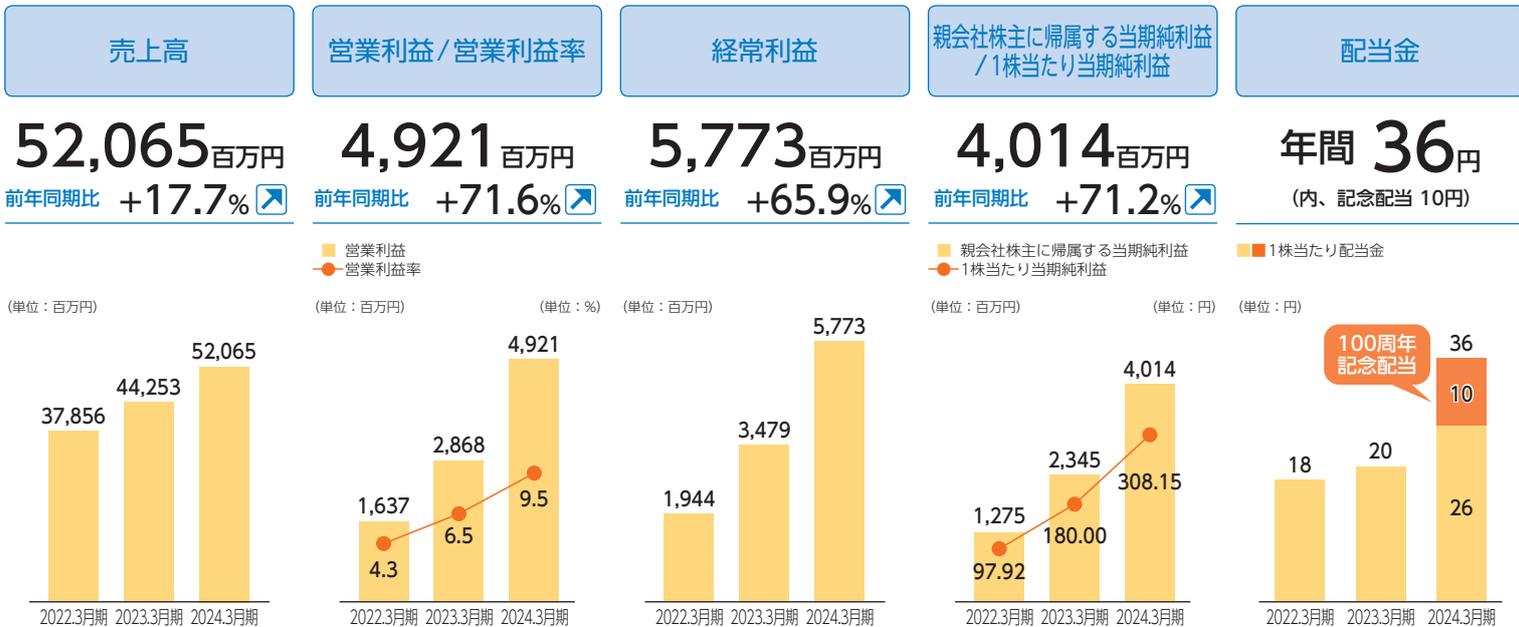
2023年4月1日～2024年3月31日

寺崎電気産業株式会社
TERASAKI ELECTRIC CO., LTD.

証券コード：6637

2024年3月期 連結業績・配当金ハイライト

詳細は、当社ウェブサイトに掲載されているIR情報をご覧ください。
<https://www.terasaki.co.jp/investor/>



2025年3月期 業績予想 及び 配当予想



《業績予想の前提となる為替レート》

1米ドル：140円、1ユーロ：152円、1英ポンド：178円、
1中国人民元：20円

《為替感応度》（1米ドル1円変動時*の影響額）

売上高：約2億円、営業利益：約1億円
*その他の外貨が米ドルと連動して変化することを前提とする

Point

- 売上高…海外の設備投資は減速に向かうと予想するものの、国内における底堅い設備投資や堅調な新造船需要を背景に、当期並みの予測。
- 利益…価格適正化への取組みを進めるものの、想定為替レートの影響、人件費の増加及び原材料価格高騰の影響により、減益となる見通し。



将来に向けた投資を
今後も継続して実行し
次なる100年に向け
持続的な成長を目指してまいります。

代表取締役 社長執行役員
寺崎 泰造

2023年度の業績

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は昨年10月に創業100周年を迎えました。この記念すべき節目を迎えることができましたのも、これまで当社を支えてくださいました株主の皆様のご支援とご協力の賜物であり、そのご厚情に深く感謝申し上げます。

2024年3月期の業績は、売上高・利益ともに過去最高を更新することができました。

この業績は、為替相場が円安で推移した影響もありますが、国内に製造拠点を残しつつも、ヨーロッパ、東南アジア、

中国などの海外に広く展開し、地域に根差した経営を行い、海外比率を高めてきたことが実を結んだものと考えております。

また、昨年に投資した伊万里の新板金塗装棟や中国広州の新工場が、活況となった造船マーケットの波に合わせて稼働開始できたことも、当社の業績に大きく寄与しました。

今後も将来に向けた投資を継続し、次なる100年に向けて、再始動してまいります。

造船マーケットの状況

造船市況は、受注量・船価ともに高い水準を推移しており、堅調な状態が継続しています。造船所の手持ち工事量は、2023年12月末時点で2億総トンを超え、すでに3.4年分程の手持ち工事量を確保されている状況です。当社も2024年3月末時点で、367億円を超えるシステム製品の受注残高を持たせて頂きました。

一方、親イラン武装組織フーシ派の民間船舶攻撃による紅海における航行回避や、パナマ運河の渇水による通行規制など、新たな物流の混乱や運賃の高騰などの懸念材料が発生しており、今後も市況の変化を確認していく必要があります。

2024年度の懸念材料

外貨売上が半分以上を占める当社にとっては、為替レートの変動は大きな懸念材料になります。

また、当社製品は銅や銀などの原材料を多く使用しておりますので、昨今の急激な銅・銀価格の高騰は、今後も継続的に注視していく必要があります。

2024年度の経営計画

2025年3月期の連結業績予想につきましては、計画為替レートを昨年度平均レートより円高に設定していること及び人件費・原材料価格等が高騰していることもあり、増

収減益という計画でスタートすることになりましたが、生産性の向上や価格適正化を進めてまいります。

2024年2月より、機器製品の製造工場である加美工場の建替第1期工事に着手しました。

本設備は、老朽化に対するBCP(事業継続計画)の強化とともに、設備の自動化・省力化・生産性向上及び環境負荷の低減等を目的としております。

また人的投資も積極的に行い、テラサキの強みであるグローバルかつ多様な人材、一人一人の能力を活かした組織づくりを進め、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2024年6月



加美工場 第1期工事 完成予想図 (2025年度完成予定)

連結財務諸表(要旨)

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表

資産の部		
科目	(単位：百万円)	
	前期末 (2023年3月31日現在)	当期末 (2024年3月31日現在)
[資産の部]		
流動資産	42,894	48,381
現金及び預金	11,357	13,210
受取手形、売掛金及び契約資産	14,718	16,066
棚卸資産	14,565	16,791
その他の流動資産	2,252	2,312
固定資産	17,048	19,662
有形固定資産	11,180	12,405
無形固定資産	142	126
投資その他の資産	5,726	7,131
資産合計	59,943	68,043

負債・純資産の部		
科目	(単位：百万円)	
	前期末 (2023年3月31日現在)	当期末 (2024年3月31日現在)
[負債の部]		
流動負債	14,064	15,301
固定負債	5,248	5,950
負債合計	19,313	21,252
[純資産の部]		
株主資本	36,337	40,065
資本金	1,236	1,236
資本剰余金	2,244	2,244
利益剰余金	32,857	36,586
自己株式	△ 1	△ 1
その他の包括利益累計額	4,247	6,725
非支配株主持分	45	-
純資産合計	40,629	46,791
負債純資産合計	59,943	68,043

連結損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	前期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	当期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
売上高	44,253	52,065
売上原価	32,159	37,327
売上総利益	12,093	14,737
販売費及び一般管理費	9,224	9,816
営業利益	2,868	4,921
営業外収益	667	1,141
営業外費用	56	290
経常利益	3,479	5,773
特別利益	7	95
特別損失	20	158
税金等調整前当期純利益	3,466	5,710
法人税、住民税及び事業税	764	1,634
法人税等調整額	350	61
当期純利益	2,352	4,014
非支配株主に帰属する当期純利益	6	0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,345	4,014

連結キャッシュ・フロー計算書

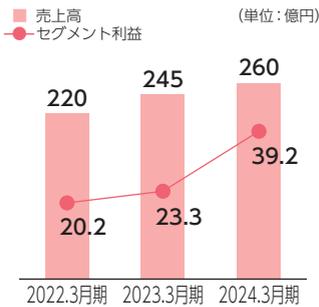
科目	(単位：百万円)	
	前期 (2022年4月1日から 2023年3月31日まで)	当期 (2023年4月1日から 2024年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 663	3,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,314	△ 2,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,196	△ 212
現金及び現金同等物に係る換算差額	368	663
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 413	1,853
現金及び現金同等物の期首残高	11,770	11,357
現金及び現金同等物の期末残高	11,357	13,210

自己資本比率



所在地別セグメントの概況

日本



売上高

26,084百万円

(前年同期比 +6.2%)

セグメント利益

3,929百万円

(前年同期比 +68.5%)

▶ 船舶用システム製品

陸電供給システムが減少したものの、ばら積み船、コンテナ船が増加。

▶ 産業用システム製品

国内のグリーンエネルギー関連発電プラント、海外プラント、コージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連向けが増加したことにより、売上は大幅に増加。

▶ メディカルデバイス

医療機器の新規設備投資が低調に推移、また臨床検査機器の一部で在庫調整があり減少。

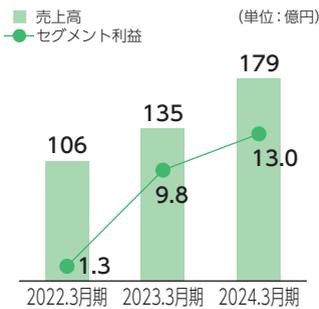
▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件が次年度へ納期移動となったものの、船舶・産業向けの点検・換装工事、ブレーカの更新工事が堅調に推移。

▶ 機器製品

国内は在庫調整する動きがあり減少。海外は豪州向け・東アジアの船舶市場向けが好調を維持。

アジア



売上高

17,925百万円

(前年同期比 +32.7%)

セグメント利益

1,300百万円

(前年同期比 +31.9%)

▶ 船舶用システム製品

コンテナ船、LNG運搬船及び陸電供給システム等を中心に、前年同期と比べ大幅増。

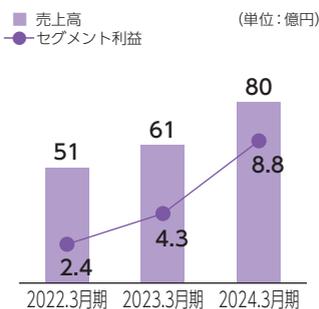
▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

移動制限の緩和に伴い船舶向けの換装工事等が増加。

▶ 機器製品

マレーシア国内向けが低調に推移したものの、中国船舶市場及びシンガポール国内向けが堅調に推移。

ヨーロッパ



売上高

8,055百万円

(前年同期比 +30.2%)

セグメント利益

888百万円

(前年同期比 +102.5%)

▶ 機器製品

脱炭素社会の実現に向けた投資需要を背景に欧州・英国内向けが堅調に推移し、中近東の一部で大型案件向けの売上があったため、前年同期と比べ大幅増。

▶ エンジニアリング及びライフサイクルサービス

ブレーカの更新工事が減少したものの、船舶向けの修理等が増加。

製品別概況

システム製品 (配電制御システム等)

売上高 277億円

(前年同期比 +21.1%)

受注高 329億円

(前年同期比 +4.7%)

受注残高 367億円

(前連結会計年度末比 +51億円)

機器製品 (低圧遮断器等)

売上高 242億円

(前年同期比 +13.9%)

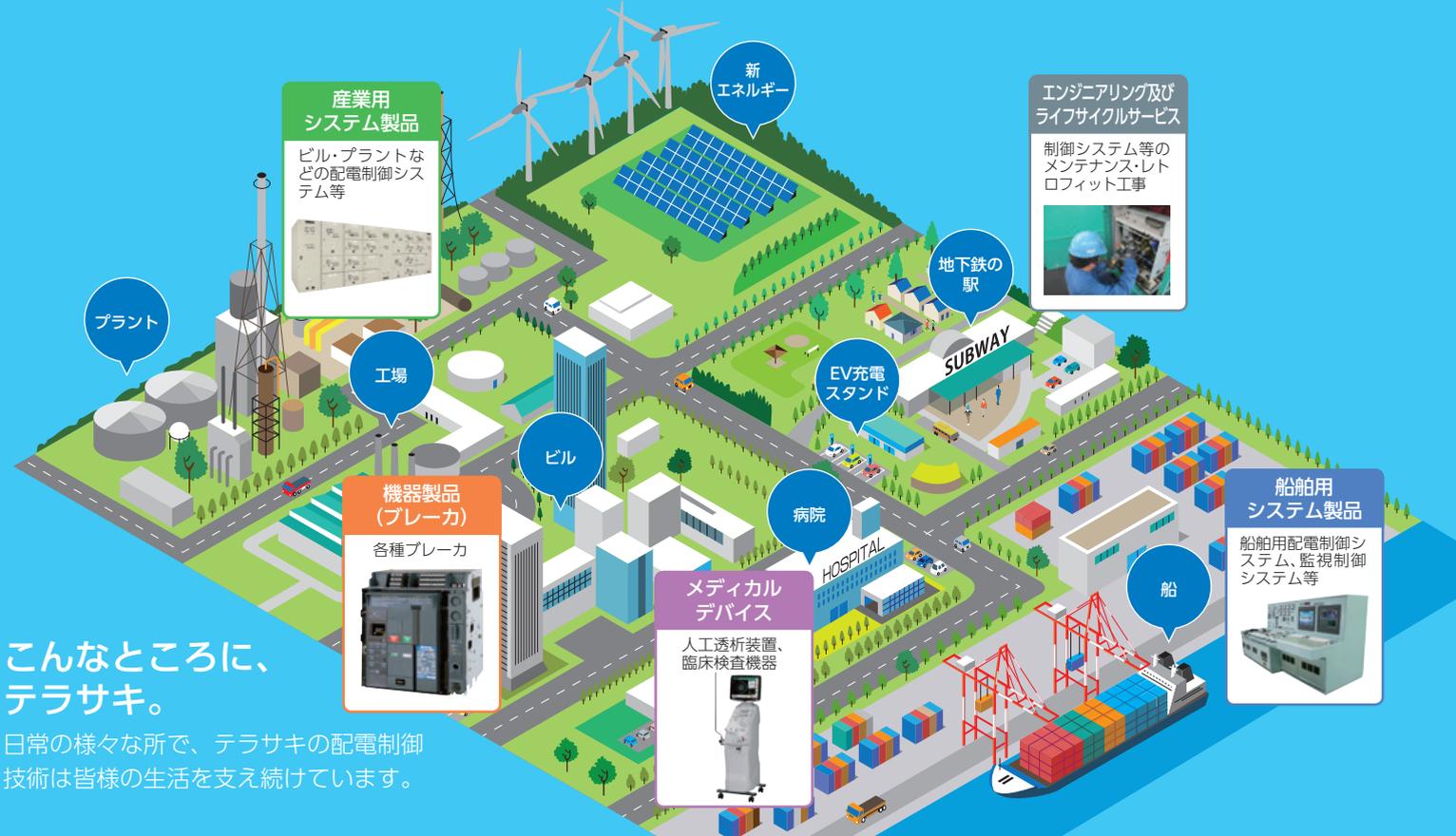
(注) 機器製品は、計画生産を行っているため、受注高、受注残高は開示しておりません。

【システム製品受注残高 推移】 (単位: 億円)



特集 テラサキの事業紹介

今回より数回にわたって、当社の事業と製品をご紹介します。



こんなところに、
テラサキ。

日常の様々な所で、テラサキの配電制御技術は皆様の生活を支えています。

Vol.1 船舶用システム製品

Q.

どんな種類の船に
搭載されているの？



当社の配電制御システムは、主に**外航船**といわれる、世界中を航海するばら積み船、タンカー、LNG運搬船、自動車運搬船、コンテナ船などの**大型船舶**に搭載されています。

船舶の運航や荷役の際に、船内の発電機で発電された電力を集め、船内に安全に送ることが、配電システム製品の役割です。配電システム製品は、**一隻あたり1システム**の製品になります。

POINT

配電システム製品には、
当社の機器製品(ブレーカ)が
搭載されています。



A.

テラサキは配電制御システムを誰に売っているの？

配電制御システムの多くは、造船所様が建造する新しい船舶に搭載されます。この船舶は最終的にはユーザーである船主様の所有となりますが、当社の直接的なお客様は**造船所様**です。

Q.

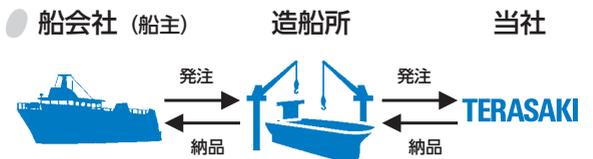
陸電供給システムって
どんな製品？



船舶は、運んだ荷物を積み下ろしする際にも船内で多くの**電力**を使用するため、港に接岸した際には、船内の発電装置から**排ガス**が排出されます。停泊時に船内の発電機エンジンを停止し、陸上側より必要な電力を供給することにより、船側から排出される環境負担物質を減少させ、**港の環境を守るシステム**です。



陸上電力供給システム
TERASAKI Shore Connection



A.

監視制御システムってどんな製品？

船内の推進機関や発電装置を監視したり、制御したりする装置です。日夜問わず運航する**船舶の安全運航をサポート**するシステムです。



統合監視制御システム
TERANET50X

● 会社の概要

商号 寺崎電気産業株式会社
本社 大阪市平野区加美東六丁目13番47号
創業 1923年(大正12年)10月1日
設立 1980年(昭和55年)4月1日
資本金 12億36百万円
従業員数 2,115名(連結)
534名(個別)
連結子会社 国内4社、海外8社

● 取締役及び執行役員 (2024年6月27日現在)

代表取締役社長	寺崎 泰造	執行役員	浜野 修次郎
専任取締役	熊澤 和信	執行役員	西野 政治
取締役	長瀬 順治	執行役員	中川 英生
常務取締役	西田 昌央	執行役員	安川 恵太
取締役	梅本 好弘	執行役員	武田 務
常務取締役	吉川 和宏	執行役員	擲 輝行
取締役	小林 裕史	執行役員	那須 修三
取締役	千代田 邦夫		
取締役	鷹野 俊司		

● 株式の状況

発行可能株式総数 52,000,000株
発行済株式の総数 13,030,000株
株主数 1,485名

● 大株主の状況 (上位10名)

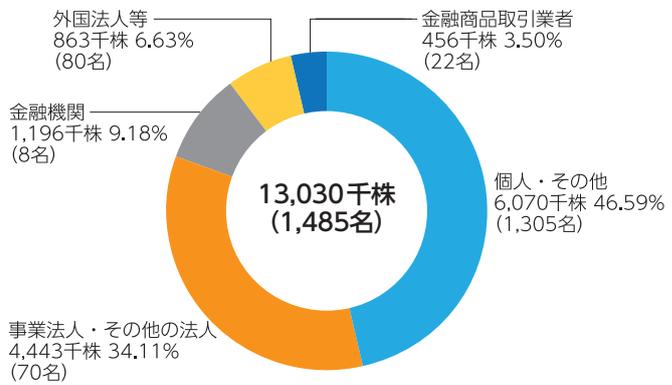
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社寺崎	2,200	16.89
寺崎 泰造	1,143	8.77
テラスキトラスト株式会社	866	6.64
荒巻 かおり	738	5.66
寺崎 雄造	677	5.19
株式会社芳山社	653	5.01
テラスキ従業員持株会	540	4.15
テラスキ共栄会	531	4.08
有限会社アーク	400	3.07
清原 達郎	390	2.99

(注) 持株比率は自己株式(1,070株)を控除して計算しております。

● 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
定時株主総会 毎年6月下旬開催
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777 (通話料無料)
なお、特別口座に記録された株式に関するお手続き用紙(届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求取次依頼書等)のご請求につきましては、インターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
<https://www.tr.mufj.jp/daikou/>
上場証券取引所 株式会社東京証券取引所 スタンダード市場
公告方法 電子公告により行います。
当社ウェブサイト <https://www.terasaki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載いたします。)

● 所有者別株式分布状況



※自己株式(1,070株)は個人・その他に含めて記載しております。

株主の皆様の声をお聞かせください /

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄書を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネックスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

